

# 第4次総合計画策定のアンケート結果

町では、平成14年度から平成29年度までの約5年間の計画となる第4次総合計画策定に向け、住民参加の総合計画策定懇話会や職員で組織する策定委員会等で事務を進めています。これに先立ち町民アンケートを実施して、皆さんからの意見の聴取を行いましたので、その主な結果をお知らせします。このアンケートの結果は、第4次総合計画策定に活用させていただきます。ご協力いただいた皆さんありがとうございます。

## ○アンケートのあらまし

1. 対象者
  - ①町内に住所のある13歳以上20歳未満の人=200人
  - ②町内に住所のある20歳以上の人=800人
2. 抽出方法
 

住民基本台帳から無作為抽出
3. 調査期間
 

平成13年8月1日～8月10日
4. 回収数
  - ①10歳代118人・回収率59%  
内訳：男性=49人(41.5%)、女性=69人(58.5%)
  - ②20歳以上603人・回収率75%  
内訳：男性=285人(47.3%)、女性=318人(52.7%)
5. 20歳以上603人の地区別・年代別内訳(右表)

地区別人数	男	女	計	割合(%)
小幡地区	91	68	159	29.7
柳島地区	29	39	68	11.3
福島地区	77	91	168	27.8
新屋地区	88	100	188	31.2
計	285	318	603	100.0

年代別人数	男	女	計	割合(%)
20～29歳	25	39	64	10.6
30～39歳	27	42	69	11.4
40～49歳	51	62	113	18.8
50～59歳	65	60	125	20.7
60～69歳	69	60	129	21.4
70歳以上	48	55	103	17.1
計	285	318	603	100.0

## 20歳以上アンケート結果 ※町内から10名、他人に実字することなどのため省略します。

## ○町づくりについてお伺いします。

**問11** 活気に満ちた魅力ある町にするために何をしたらよいと思いますか。(1つ回答)

- ①保健、少子化対策、福祉、医療、高齢者対策などの社会福祉の充実
- ②土地利用、道路、公園、住宅、工場団地などの生活基盤の整備
- ③農業、林業、漁業、工業、観光などの産業の振興
- ④水資源の確保や交通、防災、災害対応などの生活安全対策
- ⑤ごみ処理、上下水道、緑化、ふもろと景観、自然環境などの生活環境の整備
- ⑥効果的に行財政、情報公開、情報通信基盤の整備や行政サービスの充実
- ⑦学校教育、生涯教育、芸術文化の振興や健全、文化財の保護
- ⑧国際交流、都市交流、地域間交流の推進とその環境の整備
- ⑨その他



幸小幡・新屋地区が福祉の充実、秋畑地区が産業の振興、福島地区は生活基盤の割合がトップになっています。男性は生活基盤、産業振興が同数で、女性は福祉の充実の割合がトップになっています。

## ○産業振興についてお伺いします。

**問12** 今後の甘楽町の産業振興対策として、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(2つ回答)

- ①道の農産物の集約利用を図る
- ②消費者と提携した農業の推進を図る
- ③本産品を推進する消費者や産物などの販路開拓を図る
- ④ふもろを推進する
- ⑤新鮮産物の導入を図る
- ⑥ブランド農産物の充実を図る
- ⑦大規模農家の育成を図る
- ⑧その他



※地区別、職業別、年代別でもほぼ同じです。

**問13** 今後の甘楽町の林業振興対策として、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(2つ回答)

- 1位 林道や作業道の整備を図る 21.9%
  - 2位 広葉樹(なら、くぬぎ等)の植林を推進する 19.3%
  - 3位 林産物(しんたけ、なめこ、しんじろ等)の生産拡大を図る 14.5%
  - 4位 林産物の加工施設を整備する 14.1%
  - 5位 山林(杉、栲)の間伐事業の拡大を図る 10.7%
  - 6位 町内産の木材、竹の利用を推進する 10.3%
- 計 89.8%

**問14** 今後の甘楽町の商業振興対策として、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(2つ回答)

- 1位 商店の集約化を図る 21.2%
  - 2位 宅配サービスを取り入れた販売を促進する 20.6%
  - 3位 新しい商品の開発、販売を促進する 16.4%
  - 4位 後継者の育成を図る 16.1%
  - 5位 わからない 12.0%
  - 6位 インターネット等を利用して購買力を促進する 11.7%
- 計 98.0%